

小学校 福祉講話会 10月2日

盲導犬を連れ、目の見えない状態で歩くという貴重な体験をしました。



2018  
No.34

平成30年11月1日発行

- 9月定例会**
- 歳出総額26億4952万円を認定 (平成29年度決算) ..... P2~5
  - 一般会計補正3037万円 ..... P6~9
  - 小学校グラウンドのトイレ新規設置工事費を可決 など
  - 議員レポート「地方議会の力で地方創生を!-全国地方議会サミット2018-」など .. P10~11
  - 委員会活動「現場の声」を吸い上げ 体育施設の充実・改善を! .... P12
  - 一般質問 村政を問う!! ..... P13~16
  - 村長へ要望書を提出 ..... P17
  - 村民の声「浪漫を求め鳴沢村で」..... P18

# なるさわクリニック が開院！！

## ● 全会計を審査 ●

定例会開会日に予算決算常任委員会へ付託された「平成29年度決算認定」について、2日間にわたり委員会を開催した結果、いずれも賛成全員にて原案のとおり認定すべきものと決しました。

平成29年度は、長年の念願であった診療所「なるさわクリニック」の開院にかかる補助金の交付など、様々な事業が実施されました。（詳細はP4～5に掲載）



昨年10月に開院したなるさわクリニック

## ● 監査委員意見要旨 ●

監査委員 梶原 先勝・渡邊 明雄

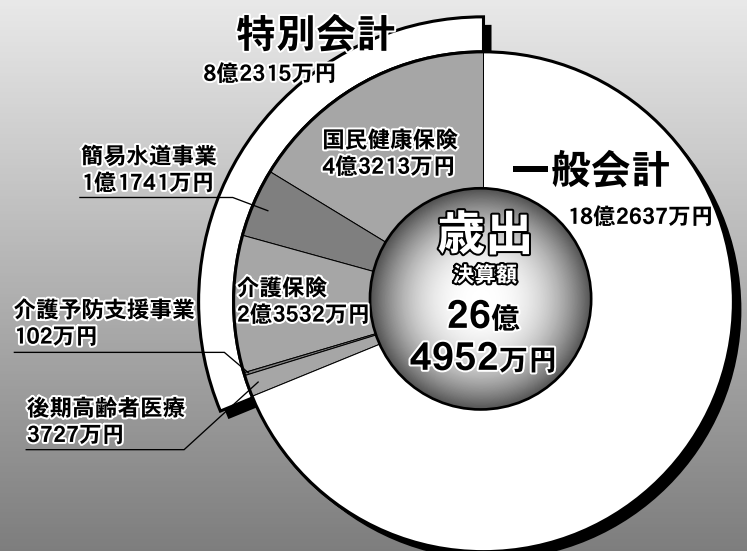
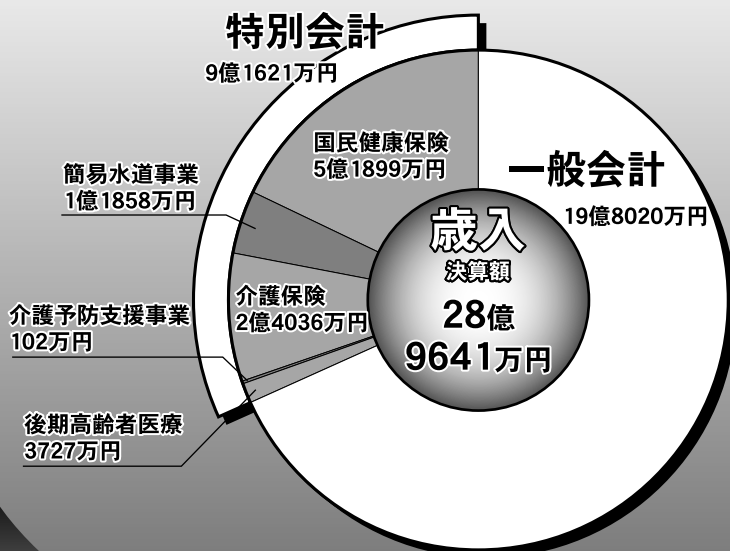
### 決算の諸計数は正確であることを確認

近年は社会保障費などが増加する一方で、村税収入をはじめとする経常一般財源が減少傾向にあったが、平成27年度に増加へと転じ、平成29年度も村税収入が若干ではあるが増加するなど、明るい兆しもみられる。

しかし、このような状況が今後も続くかは不透明である。今後も全職員が危機意識をもって更なる経費節減を行い、適正な事務執行に努め、村民の暮らしと安全を守り、住みたい鳴沢村、戻りたい鳴沢村、住んで良かった鳴沢村の実現に向けて、全職員が一丸となって邁進まいしんされることを望む。

## 一般会計・特別会計決算額

(万円未満四捨五入)



# 平成29年度決算

## 歳出総額26億4952万円を

# 認定

## 決算審査のおもな議論

### 小学校の村単教諭(※)の採用

**問(三浦直樹)** 村単教諭3名の採用の目的は。

**答(教育課長)** 担任以外の支援が必要な学級への配置や、カリキュラム遂行のサポート等として採用している。村単教諭の配置が、きめ細やかな学習指導や授業のスムーズな進行等に大きく寄与している。

※村単教諭

村の予算で独自に雇用している教諭。

### 外出支援サービス(※)の利用状況

**問(小林昭一)** 外出支援サービスの利用状況は。

**答(福祉保健課長)** 平成29年度は利用者数6名、延べ利用回数121回であった。平成30年度は8月末の時点で利用者数5名、延べ利用回数は38回となっている。

※外出支援サービス

バスやタクシー等、一般の交通手段を利用することが困難な車椅子利用者等の外出支援として、医療機関への通院のための移送を行うサービス。

### 富士五湖聖苑の火葬炉の老朽化

**問(佐藤博水)** 富士五湖聖苑の火葬炉の老朽化が懸念される。一気に全て使用不可になれば大変なことだが、今後の補修等の方針は。

**答(住民課長)** 現状では特に大きな不具合はないため具体的な話は出ていないが、今後老朽化が進めば富士五湖広域行政事務組合で対応が検討されると思う。

**答(村長)** 複数ある火葬炉を順次補強しながら使用しているので、全て一気に故障するという想定はしてない。

### ふるさと納税寄附金

**問(小林利雄)** ふるさと納税寄附金が大幅に減少しているが、その要因は。

**答(総務課長)** 返礼品の「いきやりの湯招待券」の

枚数を大幅に減らしたことや、景気の低迷による大口寄附者の減少及び寄付額の減少などがおもな要因と思われる。

**答(企画課長)** 総務省指導に基づき、返礼品の還元率を見直して16%くらいとしたため、還元率が高い自治体へ寄附者が流れてしまったと思われる。

**問(小林利雄)** 富士吉田市では17億円もの寄附金を集めているが、村では寄附金を増やすためになにか取り組む予定はあるか。

**答(総務課長)** インターネットを活用した取り組みを9月から実施している。

**答(村長)** 富士吉田市と比べ、本村は返礼品にするものが少ないという実情もある。個人的には、本来ふるさと納税は返礼品を目的に行うものではないと思っている。

## 相続放棄案件の処理

**問(三浦利雄)** 別荘地の相続放棄案件についての対応は。

**答(税務課長)** 相続財産管理人(※)を弁護士等に依頼する必要があるが、費用が50~60万円ほどかかる。費用をかけた分の回収の見込みは低いいため、精算処理ができていないのが現状である。県内の他の市町村も同様の問題を抱えており、県の滞納整理推進機構にも解決策を相談している。

※相続財産管理人

相続人のいない相続財産の管理をして必要な支払いなどを行い、最終的に財産を国庫に帰属させる役割を担う者。裁判所への申し立てにより選任される。

※18件の質疑がありましたが、そのうち5件を掲載しています。

村当局には、事業を実施してただ終わるのではなく、事業の目的を明確にして実績や成果を把握し、課題・問題点を抽出したうえで次年度以降の計画に活かすというサイクルを確立し、村民の福祉向上に寄与するよう求めました。

平成29年度は

# こんな事業が行われました！

(万円未満四捨五入)



地域医療を支える なるさわクリニック

## なるさわクリニック開院へ 6000万円 補助金交付

昨年10月2日に、待望の診療所「なるさわクリニック」が開院されました。村では、地域医療体制の安定拡大と、村民の健康と福祉の増進に寄与するために、開院に際し補助金を交付いたしました。今後は在宅医療の推進なども期待されます。



## 不妊治療費を助成 72万円

少子化対策の一環として、平成28年度より不妊治療費に要する費用の一部を助成しており、平成29年度は5件の申請がありました。経済的負担の軽減とともに、新たな生命の誕生の一助となることを願います。



導入されたIP無線機

## IP無線機を導入 342万円

災害時の情報伝達手段として、IP無線機が導入されました。携帯電話の通信網を利用するため、従来機器よりも通話エリアが広く、全国どこでも使用できます。役場や各別荘地管理事務所などに配備されています。



庁舎整備検討委員会で内容を協議

## 新庁舎建設の基本構想・基本計画を策定 243万円

村が目指す庁舎像を明らかにし、新庁舎建設時の指針となる「鳴沢村庁舎建設基本構想・基本計画」が策定されました。  
 今後の事業スケジュール等については、新庁舎建設に関する各種調整を経て方針を確定し、補助金等の活用を十分考慮したうえで、今後策定する基本設計の中で具体化される予定です。



かわいいなるシカくんグッズ

## なるシカくん グッズができました 22万円

鳴沢村の人気者「なるシカくん」のシールやノート、缶バッジなどが製作され、保育所や小学校の子どもたちに配付されました。  
 村のPRのため、今後も更なるグッズ展開が期待されます。



急な上り坂も登りやすく

## 魔王天神社裏山に 200万円 トレッキングルートを整備

登山客の利便性向上と村資源を活用した観光振興を図るため、魔王天神社裏山から三湖台へと続く登山道に新たなトレッキングルートが整備されました。

## 小学校グラウンドのトイレの 新規設置工事費を可決

今定例会では、平成29年度の決算認定や財政健全化判断比率などの報告をはじめ、補正予算、条例制定及び改正、人事案件のほか、議会へ提出された請願の採択、国への意見書提出など合計17議案が提案され、慎重に審議した結果、いずれも賛成全員にて原案可決しました。

補正予算審議では、かねてより要望の声があった、小学校グラウンドのトイレの新規設置工事費などが可決されました。また、会期中には、

前年度の決算審査を踏まえて、議会から村長へ提案する「政策提言・要望」の協議も行いました。

(詳細はP17)

最終日には一般質問に5名の議員が登壇し、障害者雇用の基本的な考えや小学校等へのエアコンの設置、害獣の駆除に対する助成など、さまざまな角度から村の姿勢を問いただしました。

(詳細はP13～16に掲載)



新たに設置するトイレのイメージ図

## 補正予算

### 一般会計

3037万円を追加し、予算総額は19億3336万円に

#### おもな使いみち

- 小学校校庭トイレ設置工事 1346万円
- 危険ブロック塀撤去・補強工事に係る補償金 485万円
- 危険ブロック塀撤去工事費用等への補助金 225万円
- 会計年度任用職員制度導入業務 216万円
- 子ども・子育て支援事業計画 ニーズ調査委託 154万円
- サル捕獲用大型囲いわな 150万円
- 小学校校舎東側外水道改修工事 119万円
- 臨時従事員(保健師)の person 費 60万円

- 戸籍システム外字関連情報抽出作業 49万円
- 児童手当交付金償還金(特例給付分) 14万円
- 保健センターに間仕切りカーテン設置 10万円

#### 財源

- 純繰越金 2989万円
- 社会保障・税番号制度システム整備費補助金 49万円

### 国民健康保険特別会計

48万円を追加し、  
予算総額は3億9605万円に

#### 使いみち

- 国民健康保険制度の都道府県化に伴うシステム改修 48万円

#### 財源

- 一般被保険者国民健康保険税 48万円

(万円未満四捨五入)

## 意見書を国へ提出

「教職員定数改善、少人数学級推進、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願」を採択し、意見書を提出

- 請願者 南都留地区PTA協議会 会長 須田 俊介 ほか3団体
- 議案提出者 三浦 直樹
- 意見書提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、文部科学大臣、財務大臣、総務大臣

〈意見書要旨〉

- 1 計画的な教職員定数改善を推進するとともに、少人数学級の推進を図ること。
- 2 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の堅

持とともに、国負担割合を2分の1に復元すること。

- 3 教育条件の格差解消を図るため、地方交付税を含む国における教育予算を拡充すること。

### 引き続き、村の財政は「良好」です

#### 平成29年度 普通会計財政健全化判断比率

平成29年度決算に基づき、財政健全化判断比率が監査委員の意見を付して報告されました。

本村はいずれの数値も早期健全化基準を下回っており、健全財政が保持されています。

##### ●実質赤字比率

- 8.64% (早期健全化基準 15%)

普通会計における、実質赤字の標準財政規模(標準的な収入額)に対する比率です。

##### ●連結実質赤字比率

- 15.23% (早期健全化基準 20%)

すべての会計における、実質赤字の標準財政規模に対する比率です。

##### ●実質公債費比率

- 2.10% (早期健全化基準 25%)

公債費(借金の返済額)や、これに準じる額の標準財政規模に対する比率です。

##### ●将来負担比率

- 312.90% (早期健全化基準350%)

将来負担すべき額の標準財政規模に対する比率です。

健全化判断比率のうち、1つでも早期健全化基準を超えた場合は「財政健全化計画」を定めて健全化に努めなければなりません。本村はいずれの数値も良好です。

#### 平成29年度 水道事業会計資金不足比率

水道事業会計(簡易水道事業)の資金不足比率も同様に報告されました。

資金不足比率とは、資金不足額の事業の規模に対する比率で、資金不足比率が

経営健全化基準を超えた場合は「経営健全化計画」を定めて健全化に努めなければなりません。本村は赤字がないため良好な状態にあります。

## おもな条例制定・改正

### 村職員の能力開発や国際貢献を支援

#### 鳴沢村職員の自己啓発等休業に関する条例

村職員に幅広い能力開発や国際協力の機会を提供するため、職務を離れて大学修学や国際貢献活動を行うことを希望する職員に対し、期間を

限定して、その身分を保有したまま職務に従事せず、これらの活動を行うことが認められるようになりました。

### 傷病休暇期間の上限を規定

#### 鳴沢村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例を定める件

村職員の傷病休暇の期間が「その都度必要と認められる期

間」から「九十日を上限」に改められました。



## 刑事事件を起こした職員の手当支給を制限

### 鳴沢村職員給与条例の一部を改正する条例を定める件

育児短時間勤務をする職員の給与月額が定められたほか、懲戒処分や刑事事件を起こした職員に対して、

期末・勤勉手当の支給制限及び支給の一時差止めをすることなどが規定されました。

## 医療費助成の所得制限適用対象者の変更

### 鳴沢村ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部を改正する条例を定める件

所得税法の改正で「控除対象配偶者」の定義が変更となったことにより、医療費助成の所得制限の適用対象者が、従来より限定されて

しまうことから、適用対象範囲をこれまでと同じくするため、「控除対象配偶者」から「同一生計配偶者」に改められました。

## 人事



梶原 先勝氏  
(鳴沢10組)【再任】

監査委員(※)の梶原先勝氏が9月30日で任期満了となるため、梶原氏の再任に同意しました。

任期は4年間となります。

#### ※監査委員

知識経験委員と議会選出委員の2人で組織する独任制の機関で、首長の指揮監督を受けずに、独立した立場で監査を行う。地方公共団体の予算執行や財産管理はもとより、一般行政事務についても、公正で効率的な運営がされているかをチェックする。

教育委員会(※)委員の渡辺虎英氏及び渡邊房貴氏が9月30日で任期満了となるため、右の方の任命に同意しました。

任期は4年間となります。

#### ※教育委員会

教育長と4人の委員で組織する合議制の執行機関で、性質上首長から独立している。公立学校その他の教育機関を管理し、学校の組織・教育課程・教職員などに関する事務を取り扱うほか、社会教育・文化財・スポーツなどに関する事務を管理、執行する。



渡邊 みゆき氏  
(大田和1組)



三浦 雄一郎氏  
(鳴沢西9組)